

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 公共の扉 「公共と人」 【知識及び技能】 ・ 青年期が人生において持つ意味を理解する。 ・ アイデンティティの確立と、画一性による他者排除の相違について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 意見の異なる相手との対話を実践する。 ・ 相手の意見を受けて自分の考えを述べる。 ・ 伝統的な生活文化が私たちの日本人の価値観や倫理観を規定している点を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考する。 ・ 対話によりコミュニティや社会をよりよいものしていこうという意欲を養う。	オリエンテーション 青年期とは 日本社会とは 対話から生まれる公共	【知識・技能】 ・ 青年期が人生において持つ意味を理解している。 ・ アイデンティティの確立と、画一性による他者排除の相違について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 意見の異なる相手との対話が実践できる。 ・ 相手の意見を受けて自分の考えを述べることができる。 ・ 伝統的な生活文化が私たちの日本人の価値観や倫理観を規定している点を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考している。 ・ 対話によりコミュニティや社会をよりよいものしていこうという意欲が見て取れる。	○	○	○	7
第1章 公共の扉 「公共と倫理」 【知識及び技能】 ・ 温暖化防止のための取り組みについて理解する。 ・ 先進国と途上国の立場の違いを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 原発稼働の賛否について、エビデンスをもとに判断し、自らの考えを表現する。 ・ 日本がどのような方法でCO ₂ を削減できるか思考する。 ・ 地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ CO ₂ 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考する。 ・ AI技術の進歩により、便利になる一方で、様々な課題も生まれることに認識し、共存するために必要な考え方を思考する。	エネルギー政策 地球温暖化問題 AIとの共存	【知識・技能】 ・ 温暖化防止のための取り組みについて理解している。 ・ 先進国と途上国の立場の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 原発稼働の賛否について、エビデンスをもとに判断し、自らの考えを表現している。 ・ 日本がどのような方法でCO ₂ を削減できるか思考している。 ・ 地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ CO ₂ 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考している。 ・ AI技術の進歩により、便利になる一方で、様々な課題も生まれることに認識し、共存するために必要な考え方を思考している。	○	○	○	5
第1章 公共の扉 「公共の基本原則」 【知識及び技能】 ・ 三権分立など民主政治の重要概念を理解する。 ・ 憲法で規定された国民の権利と義務について、体系的に理解する。 ・ 高校生にとって最も身近な社会である学校のルールから、自由と規制について学び、学校のルールを考えることを通して社会を自分たちでつくっていく意識を育み、民主主義についての理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか、表現する。 ・ 個人と国家の関係を契約という視点から捉え思考、表現する。 ・ 権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が、どのような役割を果たすか思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 自らが持っている人権（自然権）について自覚を深める。 ・ さまざまな基本的人権について、権利主体として自覚を深める。	民主主義とは 民主政治の歴史 国民主権 基本的人権の尊重 三権分立	【知識・技能】 ・ 三権分立など民主政治の重要概念を理解している。 ・ 憲法で規定された国民の権利と義務について、体系的に理解している。 ・ 高校生にとって最も身近な社会である学校のルールから、自由と規制について学び、学校のルールを考えることを通して社会を自分たちでつくっていく意識を育み、民主主義についての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか、表現できている。 ・ 個人と国家の関係を契約という視点から捉え思考、表現している。 ・ 権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が、どのような役割を果たすか思考している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自らが持っている人権（自然権）について自覚を深めている。 ・ さまざまな基本的人権について、権利主体として自覚しつつある。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>第2章 現代社会の諸課題 「法」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 三権分立における司法の役割を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費が社会や環境に与える影響について具体的に表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よき消費者として、どう行動すべきか自覚を深める。 憲法訴訟について自ら調べ、違憲、合憲の判決について思考する。 	<p>法と社会</p> <p>消費者の権利と責任</p> <p>日本の司法制度</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の法体系、法の分類、法の対象について理解している。 三権分立における司法の役割を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費が社会や環境に与える影響について具体的に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よき消費者として、どう行動すべきか自覚を深めている。 憲法訴訟について自ら調べ、違憲、合憲の判決について思考しようとしている。 	○	○	○	11
	<p>第2章 現代社会の諸課題 「政治」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世論がどのように形成され、政治に影響しているのかという基本構造を理解し、その問題点を読み取る。 憲法9条と、自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権をめぐる、さまざまな解釈と裁判があり、こんにちにいる歴史的経緯を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明する。 難民の受け入れをめぐる先進国内で紛糾している理由について考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進国である日本が国際社会で果たすべき役割について、自覚を持つ。 	<p>選挙と政治参加</p> <p>公正な世論の形成</p> <p>安全保障と防衛</p> <p>21世紀の世界情勢</p> <p>国際社会と日本</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世論がどのように形成され、政治に影響しているのかという基本構造を理解し、その問題点を読み取っている。 憲法9条と、自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権をめぐる、さまざまな解釈と裁判があり、こんにちにいる歴史的経緯を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる。 難民の受け入れをめぐる先進国内で紛糾している理由について考察し表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進国である日本が国際社会で果たすべき役割について、自覚を持ちつつある。 	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>第2章 現代社会の諸課題 「経済」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高負担・高福祉」と「低負担・低福祉」という年金制度についての二つの基本的な考え方を理解する。 南北問題、南南問題が生じている構造を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 税収と公債発行額の相関関係について注目し、必要な財源を確保するためにどのような政策が望ましいか思考する。 日銀が現在行っている金融政策の内容と目的、その効果について表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働環境めぐる変化の中で、自らが将来どのような働き方を望むか主体的に思考する。 少子高齢化がさらに進む近い将来に、自らが社会保障費の負担者となることを考慮し、この問題を考える。 	<p>雇用と労働</p> <p>財政の役割</p> <p>租税の仕組みと国債</p> <p>少子化と社会保障</p> <p>人口減少と日本経済</p> <p>日本銀行と金融政策</p> <p>格差是正と多文化主義</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高負担・高福祉」と「低負担・低福祉」という年金制度についての二つの基本的な考え方を理解している。 南北問題、南南問題が生じている構造を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 税収と公債発行額の相関関係について注目し、必要な財源を確保するためにどのような政策が望ましいか思考している。 日銀が現在行っている金融政策の内容と目的、その効果について表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働環境めぐる変化の中で、自らが将来どのような働き方を望むか主体的に思考している。 少子高齢化がさらに進む近い将来に、自らが社会保障費の負担者となることを考慮し、この問題を考えている。 	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計
						70	